

第 15 回 大阪府市統合本部会議の概要メモ

○日時：平成 24 年 6 月 26 日（火）13 時 00 分～14 時 30 分

○場所：大阪府咲洲庁舎 2 階 咲洲ホール

○出席者：松井知事、橋下市長、小河副知事、田中副市長、古賀顧問、堺屋顧問、原顧問、山口事務局長、京極事務局次長、大阪府環境農林水産部 中村部長、加藤理事、大阪市環境局長 玉井局長、東理事

○議題：

＜報告事項＞ エネルギー戦略について

○主な発言概要

橋下市長：

- ・今までは、短期的な対策・危機管理の視点に重点を置いて、ご議論いただいた。
- ・これからは「原発依存からの脱却」と「大都市・大阪、関西経済圏を支えるエネルギー戦略」といった次のステージの検討に入った。
- ・中長期的なエネルギー戦略を検討する際は、原発の安全性だけでなく、産業・経済への影響についても十分考慮が必要。
- ・中長期的には原発ゼロを目指していくことについて、選択肢を作っていただき、最終的に策定するものは、国への対案として示し、世界に発信できるぐらいの最先端の戦略になるものを作ってほしい。
- ・戦略策定の考え方・進め方などについて、近々、戦略会議に参加し議論したい。また、行政的な数字の部分など、府市の関係部局とも調整を進めてご議論いただきたい。

松井知事：

- ・来年 1 月にエネルギーフォーラムを開催するので、そこに向けて、根拠のある数値・データを明確にして、大阪のエネルギー中長期戦略を世界に発信したい。
- ・最終的な取りまとめまでには、経済界の意見も聞いて進めていただきたい。

堺屋顧問：

- ・原発の危険性について過敏になりすぎ。今後の原発をどう考えるか哲学的な議論が必要。
- ・CO2、エネルギー安定供給の問題もある。
- ・代替エネルギー（太陽光発電など）の割合を高めていくため、具体的に提案、確保するステップを実現させることが不可欠。
- ・太陽光発電の大量普及を図るとともに、高齢者資産を次世代に役立てるため、特別償却と相続税を軽減する制度を提案。

古賀顧問：

- ・それぞれの具体策については、秋までに詰めていく。
- ・経済界・産業界に対しては、明確な数値を出さないといけない。
- ・原発ゼロはエネルギー戦略会議でも議論があるが、中長期的にはゼロをめざしたい。
- ・それを実現するための具体的な内容も含めた戦略を検討する。